

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立富士見台小学校

【国語】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果から、自分の考えや意思を伝える力は身に付いている児童が多い。目的や意図に応じて必要な情報を読み取ったり、条件に応じて言葉を付け加えてまとめたりする力の定着は課題である。 ・主語・述語・修飾語、動作や様子を表す言葉、2学年以上前に学習した漢字など、既習事項を忘れていた児童が多いので、反復して学習に取り組み、定着させることが課題である。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み解く力を高めるための方法を模索し、個別の児童への指導も充実できるように努めているが、全体指導の中で十分に支援することは難しい。 ・熟語・漢字の意味、言葉のきまりなどにかけることのできる時間が短く、反復して学習する機会が少ない。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>◇「読み解く力」を身に付けさせるために</p> <p>○認識・思考・表現の過程を意識し、児童一人一人が自分の考えをもって伝えることができるよう、学習活動や支援の方法を考えて授業を展開する。</p> <p>◇話す・聞く力を高めるために</p> <p>○協働学習の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの単元内でも、目的を明らかにして話し合う活動を取り入れる。 <p>○指導と評価と支援の一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す時、聞く時のポイントに沿った振り返りを行う。 <p>◇書く力を高めるために</p> <p>○協働学習の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を互いに読み合い、より良い書き方について主体的に考えようとする姿勢を育む。 <p>○問題解決型・探究型の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からない言葉は、文脈から判断して読む力を育むとともに、辞典で調べる習慣を付けさせる。 ・学習のまとめりごとに、めあてに対応した振り返りを、自分の言葉で条件に合うように書く活動を行う。 <p>◇読む力を高めるために</p> <p>○協働学習の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明らかにして、ペアやトリオ、班で交流し合う活動を取り入れる。 ・ミライシードなど、一人一台端末を活用して学習する機会を増やし、より豊かな交流ができるようにする。 <p>○問題解決型・探究型の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取った内容に対して、その根拠となる叙述はどこかを意識させる。 <p>◇言葉のきまりを身に付けるために</p> <p>○文の中の主語、述語、修飾語のつながりや、文同士の関係に着目した読み方を授業で実践し、正確に読み取る力を身に付けさせるとともに、学年の実態に応じて文章を書くときのポイントを示し、意識して取り組ませる。</p> <p>○月に一度の朝学習「よみとくタイム」では、低学年においてはM I M、中・高学年においては視写や音読、読解などの学習を行い、語彙を増やし、言葉を正しく表すことのできる力を身に付けさせる。</p>